

### 屋外広告物クリーン キャンペーン

全国的な屋外広告物適正旬間にあわせ、市と県では屋外広告物クリーンキャンペーンを実施します。

#### ▼実施期間

9月1日(木)～10日(土)

#### ▼実施内容

- ①屋外広告物法についての規制法令の普及啓発
- ②道路上等に掲出された屋外広告物法に違反する広告物(はり紙、はり札、広告旗または立看板等)の撤去作業
- ③違反広告物は正の取り組み

#### 岡都市計画課

☎(22)0904

### その屋外広告物！ ルールを守っていますか？

屋外広告物を掲出するには、許可が必要な場合があります。必要な許可を得ていない場合は条例違反となります。

### 秋の全国交通安全運動

これからの季節は、少しずつ日没時間が早まり、夕暮れから夜間にかけての交通事故の多発が心配されます。また、秋の行楽シーズンとなることから、交通量の増加による交通事故についても注意する必要があります。

交通ルールを守り、正しい交通マナーを習慣づけ、悲惨な交通事故を防ぎましょう。

#### ▼運動期間

9月21日(水)～30日(金)

#### ▼運動の基本

「子どもと高齢者の交通事故防止」

#### ▼運動の重点事項

- ①夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故防止  
夜間外出時は反射材を着用し、自転車に乗る時は前照灯を点灯しましょう。
- ②全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底  
シートベルトを正しく着用しないと、衝突時にハンドルやフロントガラスにぶつかったり、車外に放出されたりす

### 9月は、 同和問題啓発強調月間

9月を「同和問題啓発強調月間」と定め、集中的に啓発行事を行います。市民一人ひとりが同和問題へ正しい理解と認識をすることによって、部落差別をはじめとするいっさいの差別の解消を目指します。

日本では未だに差別事象などが発生するなど、人権尊重の理念が十分に浸透していないのが現状です。同和問題は、基本的人権に関わる問題であると改めて認識し、一人ひとりが人権について考えてみましょう。

#### 岡人権施策課

☎(22)8524

### 滋賀農政事務所、大津 統計・情報センターが 9月から再編

農林水産省の組織再編により、高島市の農政関係事務を担当してきた滋賀農政事務所と大津統計・情報センターが、新たに9月1日に大津地域センターとして再編されます。

### 滋賀県最低賃金総合 相談支援センター開設

最低賃金の引き上げにより大きな影響を受ける中小企業事業主の皆さんのために、経営面と労働面の相談についてそれぞれの専門家がワン・ストップで対応する無料の相談窓口を設置しました。

#### 岡近畿農政局 大津地域センター

大津市打出浜3-49

☎077(522)4261

#### 《滋賀県最低賃金総合相談支援センター》

コラボしが21(大津市打出浜)

滋賀県社会保険労務士会事務所内

☎077(526)3760

#### 《湖北最低賃金相談支援コーナー》

(長浜市港町)

☎0749(63)1563

#### 岡滋賀労働局 賃金室

☎077(522)6654

るなど、重大な交通事故につながるおそれがあります。

#### ③飲酒運転の根絶

アルコールは少量でも脳の機能をマヒさせます。飲酒したら絶対に運転しないでください。

#### 岡セーフティーたかしま

交通安全推進協議会  
(事務局 交通対策課)

☎(22)0058



### 水道メーターの 交換作業が始まります

8年間使用した水道メーターは、法律で取り替えることが義務づけられており、毎年対象となる

メーターを交換しています。

9月上旬から2月末までの間に、対象となるご家庭の水道メーターの交換作業を行いますので、ご理解とご協力をお願いします。対象となるご家庭には、事前に八ガキで予定日等をお知らせします。

(お知らせした日時が都合の悪い方は、水道課までお知らせください。)

#### ▼要領

1. 交換は、高島市が委託した業者が行います。
2. 作業員は、身分証明書と腕章を携帯しています。
3. 作業の際は、宅地内に立ち入りますので、ご了承ください。
4. 交換するメーターと作業の費用負担はありません。
5. 交換時の立ち会いは、必要ありません。

#### 岡水道課

☎(22)6838

## 住みよい、暮らしやすい、 元気な“まち”を目指して！



### 市長の手帳

7月25日に朽木宮前坊区で今年度最初の“ごめんやす市長です まちづくり懇談会”を開催させていただきました。懇談会では、「人口減少に対する抜本的な施策はあるか。」とのご質問をいただきました。その他にも環境問題、教育、防災などについて、ひざをつき合わせて、意見交換をさせていただきました。



人口減少については以前にも他の区でご質問をいただいたことがあり、広報誌の人口の動向を見るにつけ、毎月減少していることに憂慮いたしております。

国勢調査によると合併時約5万5千人であった人口が今は約5万3千人となっています。

人口減少を一つの事業でくい止めることは難しいと思っております。産業、教育、福祉、道路など生活基盤を総合的によくしていくことが大切です。8月号の「広報たかしま」で“もっと、ずっと住みたいまちへ！ 若者定住促進プロジェクト”をご紹介させていただいています。そ

のほかにも高島市の魅力をもっともっとPRしていくことで、高島市が元気なまちになればと考えています。

また、地域審議会、まちづくり委員会など様々な会議でも、多くのご要望やご意見をいただいております。そうした課題や問題点に即対応し、ひとつひとつ解決することによって、高島市を元気にし、住みよい、住みたいまち“びわ湖源流の郷たかしま”をつくっていくのだという思いを持っています。